

こんにちは。

今回は当院が行っているシャント管理について紹介したいと思います。

血液透析患者さんにおいてシャントとは命の次に大事と言っても過言ではありません。

「おっと、シャントが詰まっていて透析ができない！！」なんていう緊急事態を防ぐためにも、臨床工学技士が中心となり日頃からシャント管理を行っています。

透析開始前には必ず視診・聴診・触診を行い、透析開始後は静脈圧の上昇・脱血不良などのモニタリングをします。異常があった場合は、エコー検査を行います。その結果、シャント内狭窄等の治療を要する場合は経皮的血管形成術(PTA)を行います。理学的所見では見つけにくい狭小部に対しては、定期的にはエコー検査を実施しています。

**【患者さんへのお願い】**

長時間シャントに強い圧力がかかるとシャント閉塞に繋がります。

- ・シャント肢を下にして寝ない。
- ・シャント肢に重い荷物を掛けない。

シャントは大切に管理しましょう♪